

未来



郵政産業ユニオン
PIWU
全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙 「みらい」
NO. 4145
21年4月27日(木)
Tel・Fax 095-828-1953

AIによる配達ルート自動作成等を活用した 配達業務支援システム 「自動ルーティングシステム」試行運用拡大

おはようございます。
コロナウイルス感染が急拡大しています。長崎市でも市中感染が疑われる状況になってきました。エッセンシャルワーカーと呼ばれる私たちの仕事は、窓口・内務・外務問わず止めることのできない業務です。マスクの適切な着用と小まめな消毒・手洗いで、感染リスクは減らすことが出来ません。皆さん、今一度我が身を振り返り、感染防止対策を徹底させましょう。

長中局では「Dcat」の本格導入に続いて、「自動ルーティングシステム」が試行導入されました。今朝はこの試行導入された「自動ルーティングシステム」について考えます。

長中局には、今回「自動ルーティングシステム」用スマホ端末が13

台追加配備され、昨年から先行導入されている第一集配営業部の5台と合わせ、各集配営業部に6台ずつの配備となり、試行運用が始まりました。



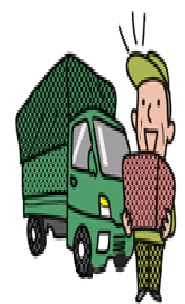
このシステムは、簡単に言えば「ゆうパックなどの配達業務の際、AIが自動的に配達ルートを作成を行う」というものです。配達ルートの作成を中心とした出発前準備作業は、担当者の経験値

や熟練度によって大きく差が出ます。この「自動ルーティングシステム」を活用することで、業務負荷の軽減、業務経験の浅い人でも簡単に配達できる仕組みを行うというものです。

4月から本格導入されたDcatと共に「ゆうパック等配達業務の効率化に向けたオペレーション改革」の取り組みの根幹となるシステムです。この二つは、どちらも新しく配備されたスマホ端末を利用しますが、Dcatが、位置情報取得・表示することにより、「危険運転個所」の把握

握・改善などの「安全遂行」や効率的な応援による経費削減ツールに使用されるのに対して、自動ルーティングシステムは「AI等による自動ルート作成等を行う配達支援システム」の側面が強いです。

現在はDcat用のスマホと「自動ルーティング」用のスマホ、さらに現行の携帯端末機とバラバラですが、将来的には一つのスマホですべて完結すると言われているので、配達業務に係わる社員には必須のアイテムとなると思われます。



宅地図アプリ」は、月額使用料金が900円するので、地図を印刷して使用している私にはとても助かります。

現段階では、補正をしなくて入力できる荷物が7割ほどしかないことや、代引き・着払いの他、コンビニゆうパックや国際関係も入力できないなど、改善の余地は多くあります。また根本的に、取扱できない郵便物との兼配が多い局では、自動ルート作成機能が役に立たないという問題もあります。しかし経験の浅い社員はもとより、担当者の多くが「4割は専門地域だが、他の地域は地図を見て配達」している現状では、この「ルーティングシステム」は良いシステムだと思えます。

自動ルーティングシステム
開発段階愛称「SmaRyu (スマリユ)」
AI等による自動ルート作成等を行う配達業務支援システム。
業務負荷の軽減、業務経験の浅い人でも簡単に配達できる仕組み作りを担う

Dcat
開発段階愛称「テレマ」
「テレマティクス※注1」を利用して位置情報を取得・表示することにより、「危険運転個所」の把握・改善などの「安全遂行」や効率的な応援による経費削減ツールに使用される

注1、「テレマティクス (telematics)」とは、「車両に搭載したカーナビやGPS機能を搭載した機器を、通信システムを利用してインターネットに接続し、さまざまな情報を管理したり、関連サービスを提供すること

私は先週3日間「ルーティングシステム」を使用しました。率直な感想としては、便利なシステムだと思いました。一番のメリットは、ゆうパックを（順路通りでなく）を無造作に入力するだけで、自動的に配達ルートを作成してくれることです。あわせて、配達先までは音声ナビが連れて行ってくれます。また配達先では「住宅地図」が表示されるため、表札などが無い家でも迷う心配が減ります。「Z社の住

次回は、長短所や改善を必要とする点、現行の携帯端末機との操作方法の違いなどを比較します。皆さんも積極的に使用して、使い勝手など感想を教えてください。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に回帰して闘おう。

期間雇用社員の希望者全員への正社員化を。

ゆめや、均等待遇、なんの差別も無い！ ユニオンは労基法裁判に勝利したぞ！